

迎春

あけましておめでとうございます

おかげさまでまちなか環境学習館は5回目の正月を迎えることが出来ました。これも、ご利用いただいている市民の皆様、そして地域の商店街の皆様のお陰と感謝しております。

昨年を簡単に振り返りますと、まず4階の学習室、環境学習の場、そして自習の場として活用していただいておりますが、利用者数も当初からの利用者数が3万6千人を超え、毎月720人前後の方にご利用いただいております。利用者の増加に対応すべく昨年初めより学習室の増席を行い皆様方のご要望を少しでも満足していただけるようにいたしました。

常備している図書も800冊以上と、当初からすると約倍の数となり、より皆さんの要望にお応えできる様になりました。

また2階、3階のミーティングルームのご利用については残念ながら停滞気味でした。今後はより一層のPRを行い、皆様にご利用して頂きたいと考えております。低料金の使用料であり、加えて環境関連団体等のご利用の際には割引の特権もございますので是非ともよろしく願いいたします。

自主事業である環境サロン、まちなかエコ市場、まちなかおそうじ隊につきましても回を重ね定着してまいりましたが、今後ともより一層皆様にご利用いただき、有意義なものにしてまいりたいと考えております。今年もよろしく願いいたします。

まちなか環境学習館 館長 西村 誠

「新年おめでとうございます！」

まちなか環境学習館の運営は今年度で第1期の契約は終了し、来年度から第2期の5年間の契約に移行します。受託予定の当法人にとっては新しい体制整備に向けて今年度は非常に重要な年です。

当館の運営は、持続可能な社会づくりにおいて、大変意義のある、そしてやりがいのある仕事です。

現役の一線をひかれつつある世代の方々、何か社会貢献をしたいと思われるの方々、仲間に加わっていただければありがたいです。

NPO法人うべ環境コミュニティー
理事長 浮田正夫



環境サロンは、身近な環境問題などをテーマに、みんなで気軽に学びあえる場、語りあえる場です。一度だけのご参加も歓迎です。

参加費…各回 200円 (高校生以下無料)

※サロン参加者には環境地域通貨「エコハ」2枚進呈!

「樹木と環境～樹木医の立場から～」

中村裕三さん(山口県環境アドバイザー)

第16回
環境サロン

とき: 1月23日(土) 15:00～
ところ: まちなか環境学習館

「マレーシアの青年海外協力隊を経験して

～森林保全のためのとりくみ～」

木下 愛さん(山口県 JICA テスク)

第15回
環境サロン

とき: 1月16日(土) 18:00～
ところ: まちなか環境学習館

熱帯雨林の開発は生物多様性の問題や、地球温暖化にも大きく関係する問題です。

2010～2012年にかけて青年海外協力隊員として、取り組まれた経験をお聴きして、持続可能な世界を目指すという観点から、現地の人たちの生活とわれわれ日本人の生活との関係について考えます。

防府市で ESD の普及に力を入れておられる樹木医の方から、環境が樹木に与える影響、樹木が環境に与える影響、名木の長寿命化対策、葉っぱによる木の種類の見分け方などについてお話を聴き、身近な緑の重要性や生かし方について考えます。

予告

「ときわ動物園の来園者をもてなす

ものづくり/休憩用ベンチづくり」

指導: 川辺真世さん(株林材・うべ環境コミュニティー)

とき: 2月11日(木・祝) 9:45～ / 13:15～
ところ: ときわの森ホール(常盤公園内)

建築端材を有効利用した親子協働の作業になります。現在、企画申請中のため、詳細が決まり次第、ポータルサイト「うべっくる」等でお知らせします。定員がありますので参加を希望される方はチェックをお願いします。

宇部市環境学習ポータルサイト「うべっくる」

宇部市のいろいろな環境学習拠点の紹介、環境関連のイベントのお知らせなど、随時更新しています。「銀天エコプラザ」の詳しい紹介もあります。

※ まちなか環境学習館や環境に関することについて、ご意見・ご質問等、お気軽にお寄せください。ポータルサイト内のブログ、フェイスブックのコメント欄もご利用ください。ツイッターの返信やリツイートも歓迎です。



うべっくる

検索

<http://www.ubekuru.com>

ナホトカ号重油流出事故(1997年)

1997年1月冬荒れた日本海を1隻のロシアのタンカーが一路、東に向かって航行していた。その船はナホトカ号、ロシア船籍のこの船は1970年ポーランドのグダニスクで建造された船(13,157総トン・全長180m)で寒冷地の航海に耐えられるように、氷海仕様となっていた。

船は暖房用のC重油を約19,000kl積載して前年の12月29日中国の上海を出てロシア極東のペトロパブロフスクへ向かって航行中であつた。

当時の日本海は荒れており、2日午前0時には西風20m/s、波高4.5mであつた。その後午前2時機関出力が低下し、操船に困難を生じ、午前3時頃右舷前方から高さ15.3mの最大級の波を受け、船首から約51m、2個の中央タンクの隔壁が一瞬のうちに大音響とともに真二つに折れた。

そして機関室に浸水が始まり、メル・ニコブ・バレリー船長は午前3時40分に退船を決意、31名の乗組員は荒れる日本海に6

隻の救命ボートに乗り脱出した。船長は船に残つた。

この事故で積載していたC重油の内推定約6,240klが流出し、船尾部分は推定約9,900klを積んだまま水深2,500mの海底に沈んだ。船首部分は沈むことなく推定約2,800klを積載したまま漂流を始めた。

船外に流出した大量の重油と船首は当初、対馬海流に乗り、日本海中央を北東方向に流れると想定されたが実際は強い西風によって吹き流され、1月7日には福井県の坂井郡三国町(現在の坂井市三国町)に流れ着いた。ところは越前加賀海岸国定公園内であつた。そして島根県から石川県にかけて広い範囲に重油が漂着した。また漂流していた船首も必死に試みる曳航作業の甲斐も無く同じく三国町の海岸に流れ着いた。

海上では海上保安庁、海上自衛隊などの艦船が重油回収に当たったが荒れ狂う波や風に悩まされ効果的な回収は出来ず、大部分が海岸に漂着することとなった。

海岸では地元の人たちはもちろん全国から集まった延べ約30万人ものボランティアの手によるバケツ、柄杓などを使った人海戦術で回収作業が進められた。

冬季の荒れ狂う日本海の冷たい強風の中でのムース状になり粘度の高くなった重油の回収作業は過酷を極め、地元住民やボランティアのうち5名が過労などで亡くなるという二次被害が発生した。

海岸での重油回収作業は3月31日、三国ボランティア本部解散で終わった。

直接の原因は大しけの日本海を航行中、最大級の大波を受けたことであるが、建造後27年経過した老朽船であり、錆や腐食によって外板や甲板の厚さが30%前後薄くなっていたこと、溶接が外れていた所があるなど全体として船体の強度が建造時の約半分に低下していた。

また、両サイドのタンクに重油を満載していたので船体にかかる荷重が大きくなっていたことなどである。

事故の影響は、海の水棲生物や海鳥の生態系に大きく影響し、漁業でも最盛期となっていた岩ノリに深刻な被害を与え、貝類や海藻類にも被害が及んだ。

海底深く沈んだ後部船体からは今も少量ながら重油の流出が続いているが、自然分解能力範囲で収まっている。

(館長 西村 誠)

まちなか銀天おそうじ隊募集!

「まちなか銀天おそうじ隊」は、月に一度、まちなか環境学習館周辺や銀天街アーケードなどを掃除しています。集まってくださった方々と楽しく「まち」をちょっときれいにしませんか。そうじの後は茶話会で一息入れましょう。年初のおそうじ隊は

1月31日(日) 15:00から

まちなか環境学習館前に集合です。

参加者には環境地域通貨「エコハ」2枚進呈!

学習館スタッフより今年もよろしくお願いします。

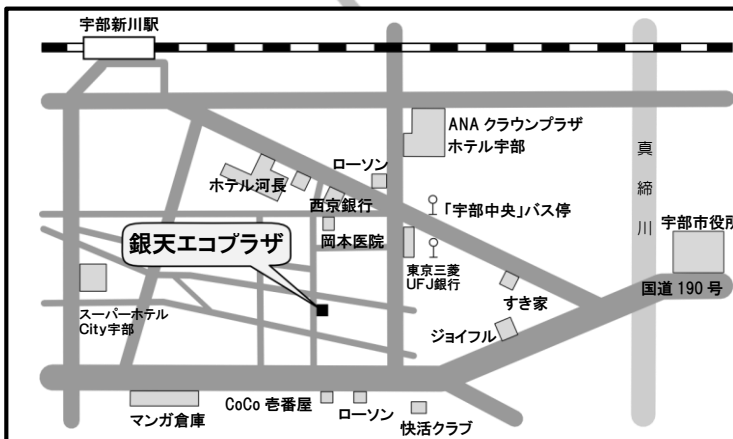
新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします(^_^) 3月26日土曜日、第19回まちなかエコ市場、皆さんよろしくお祈りします。(脇谷)

今年も元気に頑張らしましょう!! 本年もよろしくお祈り致します。c(((*^_^*))つ柏井

今年も「宇部市まちなか環境学習館」をよろしくお願いいたします。皆様のご参加、ご利用をお待ちしています。(木村)

新年明けましておめでとうございます。“一億総活躍時代を迎えます。”その言葉に励まされて、年長者新人は頑張ります。今年も宜しくお祈り致します。(山根)

目標をもってチャレンジし続ける一年になるよう頑張ります。今年もよろしくお祈り致します。(樋口)



宇部市まちなか環境学習館 銀天エコプラザ

〒755-0045 山口県宇部市中央町二丁目11番21号

交通手段 JR宇部線:「宇部新川駅」徒歩7分

宇部市営バス:「宇部中央バス停」徒歩3分

駐車場 無し (近隣の有料駐車場等をご利用ください)

TEL/FAX 0836-39-8110 E-mail info@ubekuru.com

開館時間 9時~21時

休館日 毎週火曜日、年末年始(12月29日~1月3日)